

# 平成 21 年度事業計画書

平成 21 年 5 月 29 日

一般社団法人 日本エレクトロニクスショー協会

# 平成 21 年度 事業計画

一般社団法人 日本エレクトロニクスショー協会

## 1. 事業方針

平成 21 年度事業方針は、以下の通りとする。

- (1) 当協会は、昨年 12 月 1 日に施行された「一般社団法人・一般財団法人に関する法律」等公益法人制度改革関連の法改正に従い、本年度通常総会をもって一般社団法人に法人格を移行する。このため、一般社団法人として必要となる定款変更を行い、関係規程類を制定し、これらに基づく協会運営及び情報公開等の必要な措置を的確に実施する。
- (2) CEATEC JAPAN、Inter BEE、EDSFair 等の展示会について、JEITA 等の主催者と緊密な連携の下、一層の情報発信の強化と国際化の推進を図り、出展各者の事業活動を支援するとともに、関連業界の発展に貢献できるよう企画・運営に努める。
- (3) 当協会は、会員各社・出展各社との関係強化、サービスの向上に努めるとともに、ホームページ・パンフレットによる当協会のミッション、事業内容等の紹介及び展示会の年次報告書の発行・配布を充実させ、会員をはじめ広く一般に対する情報提供の強化に努める。

## 2. 協会運営事業

総会、理事会、運営役員会等を次の通り開催し、当協会の運営に関する重要事項を審議し、各種事業を円滑に実施する。

### (1)通常総会

- ・第 3 回通常総会：平成 21 年 5 月 29 日（金）

### (2)理事会

- ・第 7 回理事会：平成 21 年 5 月 19 日（火）
- ・以降、平成 21 年 10 月及び平成 22 年 3 月に開催予定とする。また、必要により、書面理事会を開催する。

### (3)運営役員会

- ・第 13 回運営委員会：平成 21 年 5 月 14 日(木)
- ・総会以降の法人格の変更後は、運営役員会を平成 21 年 7 月、9 月、11 月、平成 22 年 3 月の計年 4 回の会議を開催予定とする。

### 3. 展示会事業

#### 3-1 「CEATEC JAPAN 2009」

- 平成 21 年 10 月 6 日（火）より 10 月 10 日（土）までの 5 日間、千葉市・幕張メッセにて開催する。今年度は、本展示会の開催 10 周年に当たり、主催 3 団体の 10 周年記念テーマ「Challenge！豊かな暮らしと低炭素社会への挑戦」及び展示会の開催テーマ「デジタルコンバージェンスが明日をつくる、未来へつなぐ。」の 2 つのメッセージのもと、「CEATEC JAPAN 2009 実行委員会」を中心として、本展示会の実施計画を立案し、主催 3 団体の役員で構成する「実施協議会」の承認を得て、開催、運営する。

本展示会の開催趣旨を次の 4 項目としており、その達成に向けて継続的な検討を行う。

- ① IT・エレクトロニクス関係企業の最先端情報の発信の場及び顧客獲得の場として、出展各社の事業活動に貢献する。
  - ② IT・エレクトロニクス産業及び全てのステークホルダー（出展者・来場者・マスコミ等）との有効なコミュニケーションの場として、関係する産業全体の活性化と発展に貢献する。
  - ③ 産業界と共に常に成長し続ける展示会として、アジアを代表し、世界で最先端の展示会を目指す。
  - ④ 世界の三大展示会であると同時に、CEATEC JAPAN の独自性を強化・発展させる。
- (2) 「CEATEC JAPAN 2009 実行委員会」を年 7 回開催し、次の 6 つの基本方針に従って、来場者・出展者により良い展示を提供することを目指す。

また、経済環境を鑑み、出展誘致に関する活動については、実行委員会、主催団体、事務局との連携を強化し、出展申込締切期限の変更などの具体的な対応策を講じ、従来にも増して積極的に推進していく。

#### 【2009 年の基本方針】

- ① CEATEC 開催 10 周年記念特別企画への取組み  
「実施協議会」の意向を受けて、本展示会開催 10 周年記念テーマ「Challenge！豊かな暮らしと低炭素社会への挑戦」のもとに、様々な企画と情報発信を実施する。
- ② 国際展示会化への取組み  
国際展示会としてのあるべき方向性と海外来場者・海外プレスの誘致策及び認知度向上に関する施策を検討・実施する。
- ③ ビジネス展示会化への取組み  
B to B を目的としている中小規模の出展者のみならず、大規模の出展者にとっても有益な施策を検討・実施する。
- ④ 出展誘致活動の強化  
既存出展者及び新規出展者の誘致について、主催団体、協賛団体の協力を得て推進する。出展対象を拡大する基盤づくりとして、社団法人日本電機工業会、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会、グリーン IT 推進協議会等、新たな領域の関係団体に対して協賛を要請する。
- ⑤ 来場誘致強化への取組み  
土曜日開催を無料化し、一般来場者とビジネスユーザの休日来場を促進する。

(3) 上記の基本方針を実現するため、同上実行委員会の下に、次の2つのタスクグループを組織して検討を行う。

①国際展示会化タスクグループ

国際化、海外来場者・プレス誘致施策の検討等

②ビジネス展示会化タスクグループ

2008年からの検討テーマである出展者、来場者のビジネスメリットの創出

### 3-2 「Inter BEE 2009」

(1) 平成21年11月18日(水)より20日(金)までの3日間、千葉市・幕張メッセにて開催する。

本展示会は、放送・映像・音響に関する質の高い国際的なトレードショーを目指し、以下の4項目を基本方針とする。

①デジタル放送への移行期を迎え、放送と通信の連携がさらに進む中、放送事業を中心とし、映像・音響制作、コンテンツマネジメント、配信・送出等の先端技術を集結させ、ビジネス促進の機会提供と国内外への情報発信を推進する。

②欧州の放送機器メーカーで構成される工業会であるIABM、アジアの放送局の技術ユニオンABUとの連携を強化するとともに、米国のNAB、欧州のIBC、中国のBIRTV、CCBN、シンガポールのBCA、韓国のKOBA、香港フィルムアートなどの各国展示会主催者との相互協力を推進する。

③「Inter BEE Forum」として、キーノートスピーチ、放送ビジネスシンポジウム、映像シンポジウム、音響シンポジウムを同時開催するほか、初級技術者向けのチュートリアルセッションを実施する。

④「Inter BEE online」と称し、放送機器、映像・音響機器などの最新情報を集約するWebポータルサイトを立ち上げ、国内外に対し、通年の情報発信を推進する。あわせて、「Inter BEE TV」では、Inter BEEの出展者情報をはじめとし、海外の関連展示会の情報を映像取材し、オンデマンド・ストリーミングにて放映する。

(2) 「2009 国際放送機器展実行委員会」を年間4回開催し、前年度までの反省点、改善点を明確にし、本年度の運営に反映させる。また、出展者と来場者の昨年の実績数を上回るような様々な企画等を検討し積極的な誘致活動を行う。本年度の展示会は、「時流を捉えた積極的な変革」をテーマに掲げ、次の3つの目標を実現する。

①展示会の幅を更に拡張

昨年プロライティング部門の拡張に続き、IPTV・MobileTV・デジタルサイネージ・デジタルシネマ・3D映像等のゾーンを拡張

②低コスト化による出展効果の向上

小間料の値下げ、専門家による出展手法のセミナーを開催、ウェブサイトの情報発信力強化等

③コアユーザの来場誘致を強化

コアユーザとなる放送局からの来場誘致の強化、新市場のユーザも積極誘致、海外ユーザへもアプローチ等

- (3) 展示会の機能と効果を向上させるため、同上実行委員会の下に、「企画ワーキンググループ」を組織して、展示会と同時開催する Inter BEE Forum のプログラム企画の検討を行う。

### 3-3 「EDSFair 2010」

- (1) 平成 22 年 1 月 28 日（木）・29 日（金）の 2 日間、横浜市・パシフィコ横浜にて開催する。
- (2) JEITA EDA 技術専門委員会と連携し、「EDSFair 実行委員会」を 7 回開催し、電子自動設計技術、ASIC 等先進デバイス技術、IP 再利用技術、組込ソフトウェア技術、各種設計サービスなど最先端技術の動向について、広く情報発信を行い、関連技術や関連産業界の一層の発展を目的として開催する。今年度は、関連の最新技術を有する出展者を増やし、より多くの技術者・専門家から最新情報を提供することを目指す。

## 4. 海外における連携活動及び広報活動

- (1) 当協会主要事業である展示会の国際化の促進を図るため、次の海外関連展示会の主催団体等と広告、プレスカンファレンス、出展誘致など相互協力を行うとともに、各展示会の情報収集活動を行う。

### ① CEATEC JAPAN グローバルパートナー

Consumer Electronics Association (CEA) / International CES (USA)

Messe Berlin / IFA (Germany)

Telecommunications Industry Association (TIA) / NXTcomm (USA)

International Engineering Consortium (IEC) / Broadband World Forum

Messe Munchen International / Electronica (Germany)

### ② CEATEC JAPAN アジアパートナー

China Electronic Appliance Corporation (CEAC) \*

Hong Kong Trade Development Council (HKTDC) \*

Korea Electronics Association (KEA) \*

Taiwan Electrical and Electronic Manufacturers' Association (TEEMA) \*

China Council for the Promotion of International Trade, Electronics & Information Industry Sub-Council (CCPIT ECC)

China Electronic Chamber of Commerce (CECC)

China International Software & Information Service Center (CiSiS)

China Semiconductor Industry Association (CSIA)

Electronic Industries Association of India (ELCINA)

The Hong Kong Electronic Industries Association (HKEIA)

Taiwan External Trade Development Council (TAITRA)

Tianjin Economic and Technological Development Area (TEDA)

\* : AEECC (Asia Electronics Exhibition Cooperate Conference) 構成団体

③Inter BEE グローバルパートナー

International Association of Broadcasting Manufacturers (IABM)

Asia-Pacific Broadcasting Union (ABU)

National Association of Broadcasters (NAB)

International Broadcasting Convention (IBC)

China Content Broadcasting Network (CCBN)

Beijing International Radio,TV & Film Equipment Exhibition (BIRTV)

Broadcast Asia (BCA)

Hong Kong International Film & TV Market (FILMART)

Korea International Broadcast, Audio & Lighting Equipment Show (KOBA)

④EDSFair グローバルパートナー

Electronic Design Automation Consortium (EDAC)

Design Automation Conference (DAC)

(2) アジアの関連展示会との交流及び主要展示会関連団体との国際会議の開催を行う。

①「AEES 2009 (Asia Electronics Exhibition in Shanghai 2009)」

会期：平成 21 年 11 月 11 日 (水) ～13 日 (金)

会場：中国・上海新国際展覧中心

②「AEECC (Asia Electronics Exhibition Cooperate Conference)」

日程：平成 21 年 6 月 21 日 (日) ～24 日 (水)

場所：台湾

## 5. 受託事業

事業名「平成 21 年度コンテンツ国際取引市場強化事業 (ソフトとハードの連携による新しいコンテンツ創出促進事業)」(経済産業省受託事業)

本事業は、平成 19 年度からの 3 年目の継続事業であり、本年度も、経済産業省で現在、策定が進められている「コンテンツ技術戦略マップ」を踏まえ、「もの」と「心」を豊かにするソフトウェアとハードウェアの連携による新しい生活の提示と産業創出の促進をテーマとし、CEATEC JAPAN 2009 会場内に「Life Contents Frontier」をテーマにした展示ブースを設置するほか、同テーマのセミナーの実施及び専用インターネットサイトの設置を予定している。

なお、CEATEC JAPAN 2009 は、平成 19 年度より引き続き、JAPAN 国際コンテンツフェスティバルのオフィシャルイベントに認定されており、本事業はその一環として実施される。

## 6. フォーラム及びセミナーの運営事業

JEITA 及び関連団体が主催する次のフォーラム・セミナーを運営する。

- ① 電機・電子 5 団体環境フォーラム 2009」（平成 21 年 6 月予定）
- ② 「システム・デザイン・フォーラム」
- ③ 「第 4 回産業社会制御システムフォーラム」
- ④ 「医療機器関連セミナー」
- ⑤ 「ME 関連説明会」

## 7. 展示会関係資料の発行

各展示会の報告書、関連資料を発行し、出展者、関係委員会等関係方面に配布する。

以 上